

2026 年度いわて男女共同参画サポーター養成講座
2026 年度市町村男女共同参画担当職員研修

～受講生の皆様へ～

御挨拶



岩手県男女共同参画センターは、
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



岩手県 環境生活部長

西野 文香

2026 年度いわて男女共同参画サポーター養成講座の開講に当たり、御挨拶申し上げます。

受講生の皆様には、日頃から、男女共同参画の推進に関心を持ち、活動の実践に御尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、男女共同参画を取り巻く環境は、社会経済情勢の変化とともに変容してきております。地域社会が持続的に発展していくためには、性別にかかわらず一人ひとりが尊重され、共につながり支え合い、自分らしく生き生きと暮らしていくことができる社会の実現が必要です。

このため、県では今年3月に新しい「いわて男女共同参画プラン」を策定しました。本プランに基づき、地域や職場における「固定的な性別役割分担意識」の解消や性別に関わるアンコンシャス・バイアスの理解促進に重点的に取り組み、「ジェンダー平等がスタンダードである岩手」の実現を目指してまいります。

本講座は、地域における男女共同参画の推進を担う人材を養成するため、平成12年度から実施しており、これまでのサポーター認定者は1,430人に上ります。

受講生の皆様には、第一線で活躍されている講師の方々から必要な知識を習得していただくとともに、講座修了後には全員が「いわて男女共同参画サポーター」として認定され、県内各地において幅広く活躍されることを御期待申し上げ、挨拶いたします。



いわて男女共同参画サポーターの会

会長 武藏野 美和

2026 年度のいわて男女共同参画サポーター養成講座を受講される皆様
こんにちは。この講座を選択されましたことに敬意を表します。

さて、今年度の内容を拝見いたしますと原点回帰なのではないでしょうか。基本を学びなおし、現状置かれた立場や考え方、周囲との関係性を見
つめ直す着眼点を与えてもらえそうに思います。

男女共同参画の出発点にもなった婦人参政権が認められ、80年が経ち
ました。未だ男女共同参画という言葉が定着しない中、横文字やカタカナ
が多いのは日本社会で捉える良い言葉が見つけれないているからかも
しれません。言葉探しより自分探しの良い機会なのかもしれません。本来
個人一人一人が尊重され、社会で生きるための義務を果たしつつ、活躍で
きる権利を遂行してゆけば豊かな社会になるのだと思うのですがその循
環がうまくない。男女が対峙するのではなく個の尊重です。

私たちサポーターの会は県知事の認定を受け県政150周年事業を
展開する豊かな岩手県民の一人として探求を続ける会です。認定を受けら
れた際は、一緒に活動できることを楽しみにしています。